



# さがえ区社協だより

## 創刊号 ジュニア版

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会  
 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷3-32-12（栄区福祉保健活動拠点内）  
 電話 045（894）8521 Fax 045（892）8974  
 E-MAIL：sakaesha@super.win.ne.jp 平成14年4月22日発行

### 「みんな福祉って知っている？ちょっとのぞいてみよう！」



みんなができそうなボランティア、探してみよう！

福祉

デイサービス  
 レク（遊び相手・話し相手）  
 席をゆずる  
 荷物を持ってあげる

道を教える  
 信号を教える  
 一緒に何か作る  
 イベントのお手伝い

美化



その他



やりたいボランティアは見つかった？やってみて！



### ボランティアとは...!!



ボランティア活動というのは、「近くに住む人たちがお互いに協力し、できることをしよう」ということです。「自分でやりたいという気持ち」でできます。絶対に「～しなければならない」ということじゃないのでやりたいことができます。

「区社協だよりジュニア版」は、区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。



# 福祉ワンダーランドをのぞいてみよう!

栄区福祉保健活動拠点には、9つの場所があります。いろいろな人が使えるようにいろいろ工夫されています。

## これが栄区福祉保健活動拠点マップだよ!



**ここは、多目的研修室だよ。**

この部屋はね、大事な会議や研修をやっている所だよ。この部屋の、机と椅子を外に出すと、広くて、人が住めるような感じになってるんだ。多目的研修室には、テレビとスライドと水道とホワイトボードなどがあって、地域の人が使っているよ。

**ここはトイレです。**

トイレは、ボタン式で大きなボタンが4つあります。普通のトイレの2倍くらいかなあ? 一人暮らしができるくらいの広さです。中に入ると外からは開けられないので泣きたい時その中でおもいきり泣けるよ。

**倉庫**

倉庫には、申いすや資料、いろいろな機械があるんだ。中は整理されているけど少しくさくて涼しくて、一人しているとこわくなる部屋なんだ。

**ここは録音室です。**

録音室は、目の不自由な人にぼくたちから声を送ったり、その他いろいろ使われるんだ。例えば、ぼくたちが本を読んで録音して人に聞いてもらったりする所だよ。音も体験してみよう!

**団体交流室**

4つに部屋が分けられるようになっていて、いろんな団体の人がこの場所を使うんだ。そのときによって部屋が2つや3つなどに分かれるんだよ。その中で、話し合いやお茶会などができるよ。パソコンも置いてあり、インターネットができるようになっているよ。

**事務室**

ここには、社協の職員の人があるよ。ドアは、誰でも軽く開けられるようになってるんだ。事務室に入ると、受付があり、そこで用事を聞いたりすると、資料を出してくれるんだよ。奥にし〜んとしている所があるんだ。入口から、入ってきた人に見られないようにしている秘密基地だよ。誰にも話を聞かれない人や、顔を見られたくない人が、相談する場所だよ。

**対面朗読室**

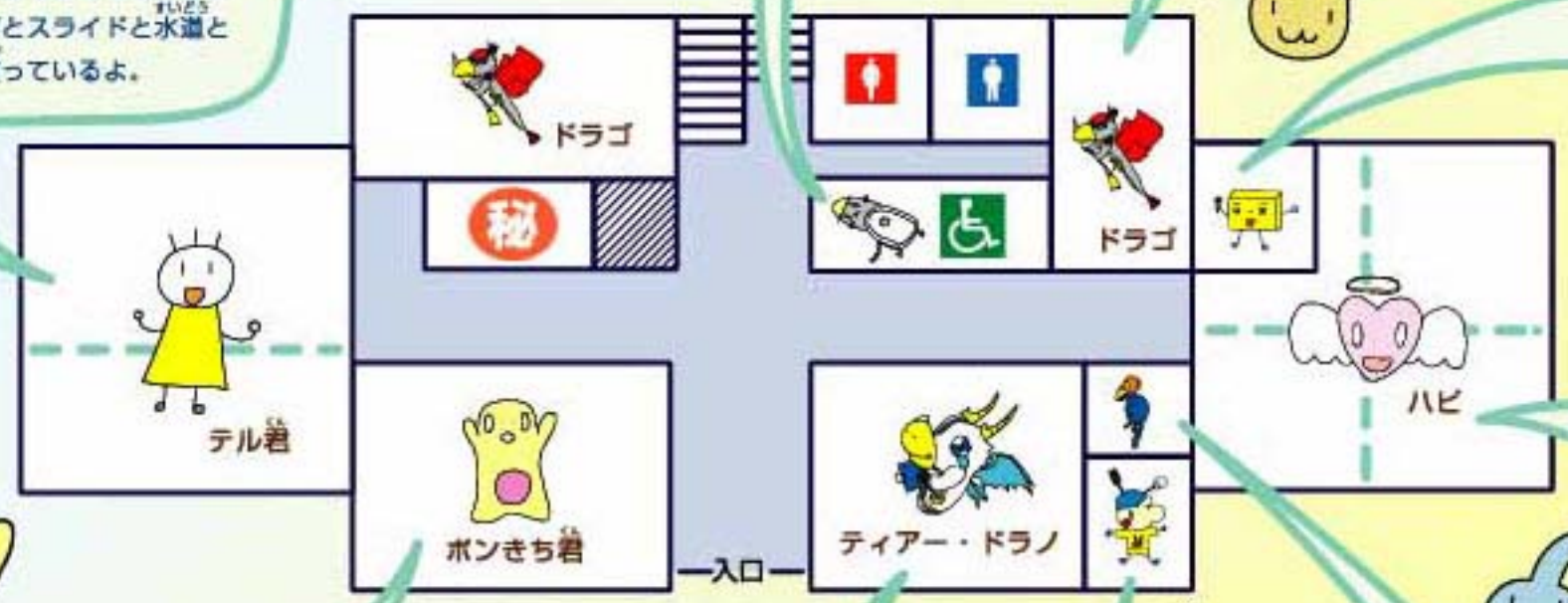
目の不自由な人が、本を読んでほしいときに来る所なんだ。本は、自分が持ってきたり、人がもってきたりして、読んでくれる所なんだ。一対一になり向かいあってやるよ。色々な機械でテープを編集したりもできるのだ。

**点字製作室**

点字製作室は、その名の通り、点字を打つ所なんだ。と言っても点字じゃなくてコンピューターで打つための部屋だよ。コンピューターが1台あって、目の不自由な人用にスピーカーが本体とは別にあるんだ。コンピューターで書いた字をフロッピーに入れてプリンターで打つんだよ。

**印刷室の説明だよ。**

中にはコピー機・印刷機・紙を折りたたむ機械があるんじゃない。障害のある人でもらくに使えるように、どれもスイッチは下のほうにつけてるんだ。





# しゃがいふくしきょうぎかい 社会福祉協議会とは？

しゃがいふくしきょうぎかい（社協）というのは、地域での福祉についていろいろな人が集まって、話し合いをする会のことです。

なぜ地域での福祉についていろいろな人が集まって話し合うかというと、同じ団体やグループの人だけだと一つの考えやアイデアにかたよってしまうからです。社会福祉協議会で今よく一緒に活動しているのは栄区内の施設の人、民生委員児童委員、地区社会福祉協議会の人、当事者、ボランティアなどの人たちです。このようにいろいろな団体やグループから出てきた人が集まり、福祉について話し合いをします。

福祉について話し合うというのはどういうことでしょうか。子どもからお年寄りまで「安心して暮らせる栄区」にするために話し合っています。例えば、一人暮らしのお年寄りやお年寄りの夫婦がごみを捨てることができないということが起こるとします。そんな時に、誰が何をしたら、この問題が解けるのかを考えていきます。

社会福祉協議会というのは、このようにいろいろな人たちと一緒に、お互いに支えあいながら暮らせるように活動しています。

\*知らないことは、聞いてね！



## ① だんのくらしのしあわせ

### 栄区社会福祉協議会 ジュニア版編集委員

西山 紗織	滝口 健太
萩原 彩乃	鈴木 真衣
木部老 誠	山崎 菜津美
宮下 沙織	上村 真理萌
滝口 康太	柳下 明日香

横浜市立本郷台小学校  
(平成14年3月31日現在)

### あしがき

自分達で文を考えたり、まとめたりするのが大変だった！でも、みんなで作るのが楽しかった。そしてボランティアの大切さを知った。



## ボラ & ティア

